

つなぐまち

2021年10月20日発行

No.221

会計決算、補正予算	02～03
一般・特別会計決算討論	03～04
人事、採決結果	04～05
一般質問 町政を問う	06～11
委員会レポート	12
請願・意見書・発議	13
町民登場	14

省力化が進む農作業



津南町議会

検索 

コロナ感染拡大はワクチン接種が進み全国的にも減少傾向となりひとまずホッとしているところです。今年は台風も少なく、実りの秋と美しい紅葉の時期を迎え、秋の味覚を満喫しているところと思います。さて、本9月議会は決算議会であり少し長丁場でしたが、令和2年度決算については一般会計、特別会計とも賛成多数で全て認定されました。また発議案2件、請願2件も全員賛成で意見書を国に提出いたしました。他に次の改選期に向けて「議員定数等特別委員会」が設置され議員数などの検討を開始します。

令和2年度 会計決算

一般会計

歳入総額 88億2,926万円
 歳出総額 85億1,807万円
 差引額 3億1,119万円
 財政調整基金決算年度末現在額 11億1,106万円

特別会計

国民健康保険特別会計 歳出総額 8億6,188万円
 後期高齢者医療特別会計 歳出総額 1億3,265万円
 介護保険特別会計 歳出総額 17億3,999万円
 簡易水道特別会計 歳出総額 1億4,773万円
 下水道事業特別会計 歳出総額 3億9,958万円

令和3年度 補正予算

一般会計 (第5号)

補正額 252万円
 総額 73億5,555万円

農業集落排水事業特別会計 歳出総額 2億8,785万円
 病院事業会計 収支総額 12億4,652万円
 内一般会計補助金充当額 3億6,325万円

歳出

〔民生費〕
 保育所空調整備 228万円
 〈教育費〉
 パラリンピック採火式 24万円

補正額 500万円

一般会計 (第6号)

総額 73億6,055万円

〔歳出〕
 〈消防費〉
 信濃川増水土囊設置 500万円

補正額 8,177万円
 総額 74億4,233万円

〔歳入〕
 国庫支出金 2,271万円
 県支出金 799万円
 地域福祉基金繰入金 750万円
 介護保険特別会計繰入金 1,154万円
 繰越金 3,156万円
 諸収入(コロナワクチン接種受託事業収入) 45万円

〔歳出〕
 施策の主な項目
 〈総務費〉
 ニュー・グリーンピア津南井戸修繕費 1,067万円
 〈民生費〉
 ひとり親世帯等支援 380万円
 障害者グループホーム整備補助 750万円
 重度訪問介護給付費増 910万円
 後期高齢者負担金等 539万円
 保育所感染症検査料 117万円

一般会計 (第7号)

特別会計

〔農林水産業費〕
 農業情報通信環境計画策定委託料 350万円
 農村環境整備補助 205万円
 農排事業会計繰出金 712万円
 〈商工振興・観光費〉
 企業雇用促進用ビデオ制作補助 120万円
 宿泊事業者等感染防止対策支援 725万円
 雪国観光圏負担金 250万円
 〈土木費〉
 除雪対策機械修繕料 300万円
 一般住宅改修補助金 300万円

〔教育費〕
 小・中学校感染症検査料及び検査簡易キット費 294万円
 社会教育文化財作業報酬 399万円

後期高齢者医療特別会計(第1号) 補正額 1億3,193万円
 総額 1億3,193万円

介護保険特別会計(第2号) 補正額 1,841万円
 総額 17億4,212万円

簡易水道特別会計(第1号) 補正額 700万円
 総額 1億4,091万円

中央水道の修繕料
農業集落排水事業特別会計（第一号）

補正額 950万円
総額 3億2,301万円
中継ポンプ及び曝気槽修繕

一般会計（第8号）

補正額 6,972万円
総額 75億1,206万円

【歳出】（商工費）
新型コロナウイルス感染症拡大防止関連協力金等 6,893万円

一般・特別会計 決算討論

一般会計

賛成討論 草津 進

持続可能な財政運営を最優先課題とし、町の将来の投資に繋がるコスト意識、計画性を持ち、最少の経費で最大の効果をあげること職員全員で意識し、健全財政を保つてきた。必要な財政調整基金を確保しながら、町政の課題が山

積している中、将来に禍根を残すことの無いよう、先送りすることなく各種施策が進められてきた。

使用料、利用料の見直し、各公共施設の今後の在り方の検討により、歳入の確保、歳出の削減に取り組んできている。また、ふるさと納税の拡大のために、使途や目的を限定して、共感を得た方々から寄付を募るプロジェクト型により、過去最高額1億7千万円となった。寄付を戴いた方々に感謝申し上げたい。歳入歳出のバランスを考慮しながら、住民サービスの向上と持続可能な行財政運営を両立してきた一般会計決算に賛成とする。

反対討論

栗原洋子

1つ、令和2年度、新型コロナウイルス感染症が日本各地で報告されイベントの開催や経済活動に影響が出始めていたにも関わらず、オリンピック開催に期待し感染症対応にしっかりと向き合っていない。2つ、公共交通について町の姿勢は、住民や地区協議会などが要請しているにも関わらず町の担当者任せにしてきた。町の最重要課

題として住民目線の交通網作成に早急に取り組むこと。

3つ、3年前に公約に掲げた新保育園建設事業、大規模化はコロナ禍に逆行するものだ。議会や住民としっかり議論することを避けてきた。3300筆の署名をないがしろにしてはいけない。

町長、前教育長の発言は住民自治、議会制民主主義を壊し住民の分断、議会の分断を引き起こした。建設ありきで進めてきた町長の姿勢は許せない。設計段階からの業者との不透明なやり取り、補助金申請の疑問、通園道路、積算過程の疑問とうに町は答える責任がある。「説得力のある心に響く生の言葉」で議論すること。町民の税金を無駄にせず、国の悪政に追いつけず町民の命と健康、生活を守ることに専念して頂きたい。

特別会計

◆国保会計決算

反対討論

桑原義信

2018年度の制度改正により、国民健康保険の運営は、都道

府県単位になった。町は一般会計からの赤字繰り入れの解消を求められ、国の方向に従い国保料を上げた。消費税10%の増税とコロナ禍で住民生活は困窮している。一般会計から繰り入れをして住民負担の軽減をするべきであり、自己負担を強いる、高すぎる国保料の更なる引き上げには反対である。

厚労省は、2020年度から「法定外繰り入れをやめた市町村には加点をし、繰り入れを続ける市町村は減点して交付措置を削減していく」という保険者努力支援制度を設置し、市町村にマイナス点を付けさせるといふ強引な公費削減を進めている。これはまさに住民負担を押しつけるものだ。

国の社会保障切り捨て、住民の暮らしと健康を壊し、命をも危険にさらす方向に対し町からも国庫負担を増やすよう声を上げていた。法定外繰り入れを継続し住民負担軽減に努力することを願う。

◆介護保険会計決算

反対討論 桑原義信

医療、介護、保育などケア労働なしでは人間は生きていけない。しかし、ケア労働が大変粗末に扱われている。命にかかわる尊い仕事をやっている介護労働者の給料は安い。介護は人々の生活にはなくてはならないやりがいと魅力のある仕事だが、給料が低く深刻な人手不足になっている。私はケアに手厚い社会をつくるべきと思う。介護保険の問題点は、保険料や利用料などが年々上がって利用したくとも利用できなくなっているところである。介護サービスの利用者負担は、所得に応じて2割、3割負担にアップ。施設利用にあたり居住費、食費は自己負担。低所得者の食費、居住費を補助する補足給付があるが、預貯金等の資産要件が加わり利用料の負担増に。今年8月からは、補足給付制度も改悪され月2万円〜7万円の負担増となる人もいる。政府の社会保障切り捨てそのものの介護保険会計に反対である。国庫負担を増やし利用者負担の軽減を国に求めよ。

◆病院会計

賛成討論 村山道明

津南病院の果たすべき役割として、外来・入院患者に安心医療を提供すること。新型コロナウイルス感染症対応からも「町民の命の安全・安心」の確保」を担保しながら診療されてきた。

決算から、総合診療内科、糖尿病専門外来の取り組みや、訪問診療を拡充することなど病院使命が強く伺え、さらに医療コンサルを受け、昨年度に対して1億円を超える赤字改善につながったことは、おおきな評価である。

先の病院運営会での総括説明や現場職員一同が共有認識してまい進してきたことが伺える。

最後に林院長先生、副院長は、病院運営に対し、強い意志で取り組もうとしている。魚沼医療圏内病院としての役割や当町の病院としての医療提供充実の意思をしめしたことを踏まえ本決算に賛成する。

人事

津南町固定資産評価審査委員会委員の同意

(賛成多数で推薦適任)



志田英子
(大割野)

県立津南高等学校卒業
昭和43年4月〜平成16年3月
津南町職員
平成22年4月〜現在に至る
津南町社会福祉協議会評議員
平成30年9月〜現在に至る
津南町固定資産評価審査委員

指定管理者の指定について

1. 指定管理者に管理を行わせる
公の施設

津南町障害者福祉施設



いこいの家

津南町大字下船渡丁

8002-2ほか

2. 指定管理者となる団体

津南町大字秋成8264番地

特定非営利活動法人

地域ケアサポート魚沼

代表理事 福原照男

3. 指定する期間

令和3年12月1日〜

令和9年3月31日

令和3年9月定例会 議会採択結果

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
承認第7号	専決処分の承認について（令和3年度津南町一般会計補正予算（第5号））	令和3年9月13日	承認
承認第8号	専決処分の承認について（令和3年度津南町一般会計補正予算（第6号））	令和3年9月13日	承認
同意第4号	津南町固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	令和3年9月13日	同意
議案第42号	津南町過疎地域持続的発展計画について	令和3年9月13日	原案可決
議案第43号	津南町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年9月13日	原案可決
議案第44号	津南町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年9月13日	原案可決
議案第45号	指定管理者の指定について（津南町障害者福祉施設）	令和3年9月13日	原案可決
議案第46号	津南町地域福祉基金の処分変更について	令和3年9月13日	原案可決
議案第47号	令和3年度津南町一般会計補正予算（第7号）	令和3年9月13日	原案可決
議案第48号	令和3年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	令和3年9月13日	原案可決
議案第49号	令和3年度津南町介護保険特別会計補正予算（第2号）	令和3年9月13日	原案可決
議案第50号	令和3年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	令和3年9月13日	原案可決
議案第51号	令和3年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	令和3年9月13日	原案可決
議案第52号	令和3年度津南町一般会計補正予算（第8号）	令和3年9月17日	原案可決
認定第1号	令和2年度津南町一般会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第2号	令和2年度津南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第3号	令和2年度津南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第4号	令和2年度津南町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第5号	令和2年度津南町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第6号	令和2年度津南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第7号	令和2年度津南町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
認定第8号	令和2年度津南町病院事業会計歳入歳出決算の認定について	令和3年9月17日	認定
発議案第3号	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出について	令和3年9月17日	原案可決
発議案第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	令和3年9月17日	原案可決
請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	令和3年9月17日	採択
発議案第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	令和3年9月17日	原案可決
請願第3号	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願	令和3年9月17日	採択
発議案第6号	余剰になった農産物を困窮する人々に支援する施策を求める意見書の提出について	令和3年9月17日	原案可決
発議案第7号	議員定数等特別委員会の設置について	令和3年9月17日	原案可決

町政を問う!!?

一般質問(11議員)

- 1 **草津 進** 議員(6ページ)
 1. 急増している新型コロナウイルス感染の踏み込んだ対応について
 2. 多発した新型コロナウイルス感染による教育への影響について
- 2 **風巻 光明** 議員(7ページ)
 1. 町長の施政方針の進捗状況を問う
 2. 国民健康保険会計の今後の見通しについて
- 3 **関谷 一男** 議員(7ページ)
 1. 台風19号の災害復旧の現状と足滝から巻下までの区間対応は
- 4 **筒井 秀樹** 議員(8ページ)
 1. 財源確保にどう取り組むか
 2. イベント等、活動時のコロナ対策について
- 5 **久保田 等** 議員(8ページ)
 1. 人口減少対策
 - ①人口動向の特徴の課題を改善するための方向性に対する上半期の具体的施策の進捗状況及び下半期の施策について
 - ②児童生徒の学力向上について
- 6 **石田タマエ** 議員(9ページ)
 1. 保育園増築工事の今後の方針について
 2. 津南中等教育学校存続に向けた支援と町内高校生への支援について
 3. 公共交通について

- 7 **桑原 義信** 議員(9ページ)
 1. 感染拡大を封じ込めるために大規模な検査を
 2. 子どもたちが思いっきり遊べる公園を
 3. 就学援助制度の活用を進めるために
- 8 **小木曾茂子** 議員(10ページ)
 1. 足滝堤防工事について
 2. 原発事故避難計画上の問題
 3. コロナ対策について
- 9 **桑原 洋子** 議員(10ページ)
 1. 新型コロナウイルス感染から子どもの命を守ることを最優先に考えているかを問う
 2. 地域コミュニティバス(ワゴン)を最優先に、公共交通の改善策を問う
 3. 入札不調に終わった保育園増築工事、改めて保育園のあり方を見直す考えはないか問う
 4. 国保の均等割、子どもの負担軽減について、国・県に訴えたか、町独自で支援することを再度伺う
- 10 **村山 道明** 議員(11ページ)
 1. 中小農家支援事業等農業施策について
 2. 社会福祉協議会の運営全般について
 3. 学校・保育園コロナ感染について
- 11 **滝沢元一郎** 議員(11ページ)
 1. 地域づくり基盤について
 2. 津南中等教育学校について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

津南町独自の特別警報は

町長 全国的に輸入材の価格高騰と供給不足が生じており、県主催の会議での情報共有や意見交換を実施している。製材工場の廃止に伴う町内への影響は少ないと思っている。

町長 全国的に輸入材の価格高騰と供給不足が生じており、県主催の会議での情報共有や意見交換を実施している。製材工場の廃止に伴う町内への影響は少ないと思っている。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。



草津 進 議員



来い 国産材時代

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長 町において酒類を提供する飲食店の営業時間の短縮を要請した。町総合センター、文化センター、中津川運動公園、なじよもん、民俗資料館の休館、小中学校の部活動休止を行っている。町独自の警報は考えていない。

町長の施政方針の進捗状況と取り組みは

町長 近隣の産業廃棄物処理業者で焼却処分が、できないことが判明。引き続き検討している。また国では資源の循環として再資源化が強化されるため、動向も注視する。

問 他市への委託はコスト的に有利なのか。

答 税務町民課長 焼却経費のみで考えた場合有利であるが、その後のメンテナンスや修理などを考えた場合あまり変わ

燃えるゴミの町外への焼却委託はいつになるのか？



風巻 光明 議員

らないのではと考える。

がんばればあと1億円

問 病院事業では、中長期計画を策定することになっている。過去5億円を超える赤字から昨年度決算では3億7千万円まで改善された。これは職員が一丸となって取組んだ成果と敬意を表したい。改善は毎年の積み重ね。停滞しないよう今後の取り組みは。

町長 今年度、経営改善部会として増患戦略、診療報酬算定チームなど4チームを配置しアクションプランを作成し行動を起こしている。

問 「機能強化型在宅支援病院」を目指すとしているが、課題は解決したのか。

病院事務長 届出を出し現在実績を上げている。要件をクリアしたと考える。ただ24時間診療で大雪の時の課題は残っている。



CO2ゼロを目指して、燃えるゴミのリサイクルを進めよう

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

令和元年の台風災害の復旧と現状は

町長 台風19号で町内では、護岸の崩落等12箇所被害を受けた。現在9箇所の改修が進み完了。残り3箇所も今年度完了予定。信濃川、千曲川の上下流一体で計画設計され町全体の治水安全が図られるように要望している。また国直轄管理の中抜け区間は、北陸地方整備局に国土保全、管理の観点から国一括管理で流

災害復旧の現状と上郷橋の対応は



関谷 一男 議員

問 復旧工事も進められているが、足滝、巻下の堤防嵩上げが改修されると、灰雨から割野間の災害危険度が増すと思われるが、この区間の対応は。また上郷橋は補強、ジャッキアップ、架け替えを視野に改修することだが、その後の進展は。

域住民の安心を図るよう要望している。上郷橋は架け替えを計画し、位置や橋梁構造について検討している。

問 改修で計画流量を7500トンとしているが、これは足滝、巻下の嵩上げ3メートルの堤防が対応しているだけではないか。灰雨から割野までの区間では、ブロック積みも現状改修で5段、10段積み上げなどの改修が見られないが、この区域も流量を本当に7500トンで計算され改修が計画されているのか。

建設課長 計画流量7500トン想定し、各地区の工事を設計している。



豪雨による巻下仮堤防の崩落

まずは町内事業者が儲かる施策を



筒井 秀樹 議員

財源確保にどう取り組むか

問 津南町の最大の問題点として、財源がない。

町内事業者が儲からなければ、町民税は増えない。

1. 町内事業者が儲かる施策。
2. 農業がさらに儲かる施策。
3. 観光業への施策。

町長 景気悪化に対して止血、刺激、体質強化、三段構えの施策で展開していく。事業継承も必要だ。

- ・ 儲かる農業に向け、各施策で所得向上に取り組む。
- ・ 園芸一億円産地育成の実現に向け、PR活動も推進する。
- ・ 観光業へは、県の補助金の上乗せをしていく。

問 町の歳費のうち、十億円が人件費だが、その10%でも町内消費に回れば、かなりの経済効果が期待できるのではないか。

副町長 個人の消費の事だ

が、会議等では、町内での利用を促している。

問 収入確保のため、ふるさと納税返礼品として雪上キャンプや、レンタル農園はどうか。

副町長 観光地域づくり課長 雪は津南の魅力だ。課題はあるが検討したい。

問 津南の収入源として、水力発電の可能性は。

町長 まだまだ可能性はある。

問 来季ひまわり畑等観光を事業化しないのか。いつまでボランティア頼みか。

副町長 観光地域づくり課長 必要人員、人流策等、来期に向け、検証する。

問 イベント等、活動時のコロナ対策をどうするか

感染対策として、町のガイドライン、指針を作れないか。

町長 独自のガイドラインは考えていない。



雪を資源に変えていこう

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

自然の魅力だけでは子育て世代は移住しない



久保田 等 議員

保育園から「遊び英語」の取り入れを

問 津南町でも保育園から「遊び英語」を取り入れて欲しいとの要望は多く聞かれる。

今後、若い子育て世代の移住者を増やして行くとなると、大自然プラス教育の魅力がなくては移住者は増えない。全国的にも公立で3割、私立で5割近くの保育園で英語に触れる活動をしている。実現は可能か。

教育長 現在ALTは1名しかいないので出来ないが、2名になれば可能だ。

イングリッシュ・アドベンチャーをもっと活用出来ないか？

問 毎年、都会から夏休み等の長期休みを利用して英語キャンプに800人以上の子供

達が津南町に来ている。せっかく身近に素晴らしい施設があるのになぜ津南の子供達の利用を考えないのか。

町長 今後、検討していく。

問 婚活支援は2年間全く何もしていないが今後の予定は。

町長 今後県が実施している新潟サポートセンターを紹介する。またハートマッチ新潟の初回登録料を助成する。出

会いやイベントの婚活費用の助成も考えている。

問 企業誘致の進捗状況は。

町長 4月にIT企業等を誘致して頂く「株あわせ」と委託契約を締結した。今後自治体と企業が行うマッチングイベントに参加する。



イングリッシュ・アドベンチャーが入るマウンテンパーク津南

不落到終わった保育園建設計画の今後

保育園増築工事の今後の方針を問う



石田 タマエ 議員

問 7月に実施された増築工事の入札が不落到となったが、今後のスケジュール・予算・規模等の変更はないか。

町長 どうしたら予定通りに進められるか、検討中だ。「私としては与えられた範囲内でできることを精いっぱいやるしかない。」

中等教育学校の存続のために

問 十日町・魚沼地域が連携し、この圏域が一つになって県と対峙していかなければならないか。

町長 この圏域に必要な学校であることは各自自治体で共有できていると思う。しかし通いやすい場所となると難しい。何としても必要な学校だ



利便性が望まれるバス路線

ということを共有してほしい。その為に津南町が何をしなければならぬかを事務レベルでの協議等を通して、具体的に進めるべきではないか。地元自治体として、寮を作るとか、バス待ちの場所を提供するなどの、通学しやすい環境を整えることも必要だ。また、町内の高校生への助成は検討したか。来年度は町内の高校生への助成施策を実現してほしい。

公共交通を住民目線で実現を

問 「住民の利便性を優先すると交通事業者に影響する。」とのことで、この施策が前に進まない。住民レベルでしっかりと協議をすることが必要ではないか。

町長 必要性を感じている。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

誰でもいつでも受けられる検査体制を

ワクチン接種と大規模検査をセットで



桑原 義信 議員

問 新型コロナウイルス感染症は全国で爆発的に拡大し、新潟県も過去最高を更新している。日本共産党は収束に向け①ワクチン接種と大規模検査をセットで②自粛要請に十分な補償を③医療機関に対する減収補てんと支援強化を一貫して提案している。安倍、菅政権による一年半のコロナ対応をどう評価しているか。感染封じ込めに対する町長の考えを伺う。

町長 国に対してはしっかりとした感染症対策、安定したワクチン供給、必要な財政措置を実施していただくともに首相にはリーダーシップを発揮していただき、感染対策と経済立て直しの出口戦略を

スピード感をもって進めてもらいたい。

問 ワクチン接種状況をどう評価しているか。

町長 町全体の接種率は85%を超える見込みである。高い接種率が感染拡大防止や感染者の重症化に効果を上げていると感じている。若い世代の接種率を上げるよう検討していく。

問 誰でもいつでも無料で受けられる検査体制を

町長 検査が必要な方を優先し、対象を絞って無症状者への検査も実施していく。

問 感染拡大防止と住民の不安払拭の為に大規模検査を。

福祉保健課長 小中学校への抗原検査キット購入も提案している。



ワクチンと一体に大規模検査を

コロナ後の津南町の設計を！



小木曾 茂子 議員

足滝堤防工事の今後は

問 「足滝地区堤防整備検討会」に町はどう臨むか。

町長 住民の意見をよく聞いて会に臨みたい。

問 堤防工事に伴う公民館移転、農地整備等をどう住民と話し合う予定か。

町長 公民館は集落の意向を伺って進める。農地整備は、堤防工事決定後、地元説明会などを行い意見を聞く。

原発避難計画を進めよ

問 「原発避難者受け入れに係る指針」に沿って避難元の自治体との話し合いはなされているか。

町長 県研修会もズームで行われ話し合いはなかった。

問 避難経路の渋滞などで柏崎刈羽からの避難者が来たら

どうするか。

総務課長 対応は難しい。

問 津南町に放射能が降ったらどうするか。

町長 情報を仕入れ、国や県と協力して自宅退避等の措置をとる。

今後のコロナ対策は

問 ワクチン副反応の実態と対応はどうなっているか。

町長 直後には26名が手足のしびれなどを訴え3名が受診した。帰宅後の人数は把握していない。健康被害が生じた場合は、国の「予防接種後健康被害救済制度」で対応する。

問 世田谷区等からのコロナ疎開を受け入れてはどうか。

町長 住民感情もあり難しい。



8/14 足滝地区信濃川河岸に土嚢が積まれた

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

子どもたちの命を最優先に

町の危機管理欠如、無責任では

問 子どもを含む新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した。業務委託するTapの合宿を町教委が把握していなかったこと自体問題だ。町として事業の可否基準はあるか。

特に新型コロナウイルスの感染対策は町が関わり、関係者との認識の共有が大事ではないか。

町長 委託先がどのような事業を実施しているか把握していなかったことは不備であった。町の可否基準はない。国県のガイドラインを参考に判断する。県ガイドラインは重いものとしてらえている。関係者との情報共有の認識は大切であり、その方策を検討したい。

問 町の危機管理力の欠如、



栗原 洋子 議員

Tapの感染症への危機感も問題。子どもたちの命を最優先に考えるべきではないか。

町長 社会体育事業の中止、施設の休館等町民の皆様にご迷惑をおかけした。ご心配や不安をおかけし深くお詫びする。

子どもの均等割軽減拡大を

問 国は来年度から未就学児の国保均等割保険料の半額助成を決めた。年齢の軽減拡大を国に求めたのか。町も独自負担をしよう求める。

町長 対象年齢引き上げの要望を県の保険者として提出することとした。一般会計からの繰入は難しい。



感染禍 子どもたちの命、最優先に

中小農家を見捨てるな

耕作地5ha以下の農家助成が急務だ



村山 道明 議員

問 津南農業の経営規模は、5ha以下の中小農家が90%強占めている。意欲ある中小農業者が、知恵と工夫を活かし所得を確保できる取組み（小規模ハウス・小型機械、ハード・ソフト経費など）に対する支援策を講ずることが今、町長の責務であるが。

スマート農業・情報通信整備事業は

問 スマート農業実証プロジェクトを進めているが、更に情報通信環境を町内整備する

としている。導入コスト、スキルの高さなど農家に負担を求めるとなると、スマート農業推進を進める中、慎重審議を重ねて行くべきであるが。

町長 スマート農業は令和2年度から、キャベツ・雪下ニンジンに機械導入し作業の省力化を図っている。実績は、防除ドローン15機・キャベツ収穫機2機・ラジコン除草機1機を導入し、ドローンライセンス取得者26名。

情報通信関連整備計画は、農業者のニーズ、導入コスト調査やワークショップ開催など2年間慎重に議論していく。**農林振興課長** スマート農業は町単で10%補助し加速させたい。法人や個人でも補助したい。担い手の方だけだと事業は進まないで中小農業者も含めて支援できる制度等を検討する。



ドローン防除作業中

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

早期に地域づくり基盤の確立を

地域づくり法人は



滝沢 元一郎 議員

問 町長の任期が終盤に入りスピードを上げないと成果が出ない。地域づくり法人の人材、財源、体制、意思決定機関の見通し、移住定住職員プロジェクトの現況、未来会議の今後について伺う。

町長 地域づくり法人は6月に設立検討委員会を再開した。財務基盤を詰め、コロナ後の状況を考慮しながら計画を立てる。企業版ふるさと納税や専任の地域おこし協力隊員を募集しており、将来中核的な存在になる。移住定住は若手職員プロジェクトチームで起案された移住サポーターの募集、移住コーディネーターの設置を予定したい。ライン「つながる津南」の相方向オンラインで移住相談も始

めている。未来会議は、まちなかオープンスペースの検討と、つなん型ツーリズムの滞在型コンテンツの開発について動いている。今後もテーマにそって随時開催する。

津南中等学校の存続は

問 松之山分校は令和5年度募集停止になるが、津南中等校も定員割れになれば募集停止に直結し、喫緊の課題ではないか。

町長 津南中等校へは通学支援・家賃補助、探究的な教育プログラムの支援などを実施している。中等校は子育て移住定住などの施策上もその存在意義は大きい。支援組織とも連携しながら志願者増に取組みたい。



移住定住プロジェクトチーム検討会で議論中

委員会レポート

総文福祉常任委員会

地域おこし協力隊との懇談会

とき 7月30日(金)

ところ 津南町役場会議室

内容 地域おこし協力隊の活動を理解し、町づくりへ活かしていくことを目的に実施。集落支援員を含む6名の方々から御出席をいただきました。

皆さんが、津南を選んだ理由としては、「津南が好きだから」「自然の中での生活に興味があった」等の理由で津南を選ばれたとのことでした。

協力隊員から「受け入れる目的を明確にしてから受け入れると、津南での活動がスムーズにスタートする」とのアドバイスをいただきました。

また、津南町の課題に向き合い、特に、公共交通の不便さや空き家対策、冬の除雪等については、「解決の糸口さえもつかめない」と心を痛めておられる様子が伺え

ました。

懇談を終えて

この地に長く住んでいる私たちができても、なかなか解決できない課題に向き合っていく姿勢に感謝し、共に地域の課題解決に協力していかねばならないと痛感いたしました。

(担当 石田タマエ)



地域おこし協力隊との懇談会風景

産業建設常任委員会

稲作・畑作状況調査

とき 8月30日(月)

調査場所 町内各所

内容 稲作関係では3つの圃場を調査しました。

①正面原品質・食味向上実証農場「コシヒカリ」

②堂平の一発元肥調査圃場「コシヒカリ」

③巻下の晩成品種「新之助」



コシヒカリ圃場

今年は平年に比べ出穂期が2日から4日早かった事で収穫の目安は外丸・今井で9月13日から14日



切花圃場

で2日ほど早い。米原・中子原・大井平原は4日早い。上加用・中深見・正面原・太田新田・見玉・反里口原は平年に比べ5日早い。畑作関係では、赤沢上山の切花圃場、キャベツ圃場、天上原のズッキーニ圃場、中子上山のスイートコーン圃場を調査しました。切花は令和2年度が作付け農家44件、売り上げ約7千万円と年々農家数が増えて来ています。スイートコーンは作付け面積は年々増えていますが、販売額は4千5百万円程で、気候や相場に左右されやすい。ちなみに今年は豊作とのことです。

(担当 久保田等)

請願・意見書・発議案

発議（意見書提出）

①豪雪地帯特別措置法改正に関する意見書の提出
 特別豪雪地帯特例措置の10か年延長、雪処理の担い手確保などの課題に対し交付金や基金等財政支援制度を創設するなどを強く要望する意見書の提出
 全員賛成で可決

②コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出
 全員賛成で可決

請願・発議

①30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願
 全員賛成で採択

同意意見書の提出についての発議案
 全員賛成で可決

②コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願
 余剰になった農産物を困窮する人々に支援する施策を求める意見書の提出についての発議
 全員賛成で可決

発議（特別委員会設置）

議員定数等特別委員会の設置についての発議
 全員賛成で可決

「議員定数等特別委員会」

●委員長

津端 眞一

●副委員長

村山 道明

●委員

滝沢 元一郎

小木曾 茂子

恩田 稔

栗原 洋子



上記の6名に決まりました。定数削減ありきではなく、広く住民の意見を聞き議員の役割、定数のあり方等を議論してまいります。



町民登場

山の上の小さなカフェ
Ohisama genkiを
オープンした内山光子さんをお訪ねしました。



SNSで自分の作った料理やお菓子を載せていたら、「作り方が知りたい、食べてみたい。」という書き込みがたくさんありました。我が家は、農家ですし、年寄りもいて、外に仕事にも行けないので、自宅の車庫をリフォームしてカフェにしました。皆さんの食と癒しの空間にしたいと思ったからです。

まず、三条市で空き家のリフォームを手掛ける設計事務所を訪ねました。そこで「クリエイターユニット401」を紹介されました。そのグループは長岡造形大学を卒業した5人で、都市空間にアートを描いています。改装した店の壁に自然や動物そして音楽を奏でる人たちを描いてもらいました。

お出しする料理やお菓子は、私がクロアチアを訪れた時に地元の方々に教わったものがベースになっています。地元の野菜や育てたハーブなどを使ってアレンジしています。長年の献立帳があるので、日替わりメニューに困ることはありません。

店に置いている小物も私の手作りで、クロアチアの刺繍を施したものが多いです。それ

はイワン・ラツコヴィッチ先生のお弟子さんにペン画を習っていたご縁からです。

開店してからは、地元の若い親子連れなども来てくれます。「山の中にあって、こんな癒しの空間があるっていいね」って言ってくれます。食べ物も水も空気もおいしく、景色もよく、安心して暮らせる生活環境と、温泉や遊びに行ける場所もあるという、そんな地域の良さを伝える場所でもありたいと願っています。



道路にある看板



カフェの入り口

【Open】金・土・日曜日／10:00～18:00
月曜日／10:00～17:00

【冬季間休業】

【Add】津南町谷内844-2
【Tel】090-2236-1634

12月議会告知

第4回定例会は12月8日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。



コロナ禍での祭りの夜

新型コロナウイルス感染症拡大のため、町内でも多くの集落で夏・秋祭りが中止されました。そのような中で、花火の打ち上げだけを行った地域が多くありました。いつもはお客様の接待に追われじつくりと花火を鑑賞する暇もないお母さん方は、久々にゆつくりと夜空に輝く花咲く花火に見入ったのではないのでしょうか。花火が消えた後には残り火の様に星々が瞬いています。新米の季節です。豊作や家族、御近所の健康、遠くの知人たちの幸せを願った一夜でした。

編集後記

Editor's postscript